

2014年9月3日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後2か月以内】

団体名 奥州市水沢南地区
防災水沢みどり委員会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

防災組織による炊き出し訓練

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

奥州市地域防災計画に基づき、市民の防災に対する意識啓発を図るとともに、防災関係機関相互の協力体制を確立するため、有事の際に迅速かつ円滑な活動ができるよう総合的かつ実践的な訓練として奥州市総合防災訓練を実施される。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

奥州市総合防災訓練において当防災みどり委員会の活動として、炊き出し訓練を行ってご参加するものである。
また、その後も機会をつくり活用していきたい。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回新たに購入した大型鍋により、委員会として、初めての炊き出し訓練であり、水の量、火の具合等、おもしろい面が多々あったが、地域の女性組織の協力もあり、1,100名のおりぎりをつくることのできた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

真如苑様のおかげで購入できた鍋がありますので、広報などで紹介させていただきまあとともに、訓練以外場などで、例えばイベント等でも活用させていただきたいと思っております。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

を皮切りに5人が予定。2〜4日目は5人ずつ、5日目は4人が登壇して質問を行う。一般質問の通告者と質問項目は次の通り。

【菊池利美氏】①前沢と再開の見通し②介護保険の今後
【中西秀俊氏】①江刺診療所(診療所の経営状況、転院者への意識調査)②固定資産税
【及川佐氏】①事務事業・公の施設の見直し②

【高橋政一氏】①介護保険制度の改正と第6期介護計画②医療改革プランの現状と医療・介護総

【内田和良氏】①公共土木施設の整備②地区センター運営の今後
【鈴木雅彦氏】①医療

る取り組み
◇5日

爽やか

きょうから9月1日。夏の間不順な天候が続いてきた胆江地方は31日、爽やかな青空となったが、日差しや吹く風はどこか秋の気配が漂った。夜の

練を繰り返した。閉会式で統監の小沢昌記市長は「何事も日ごろの訓練が大事。住んで良かったと思えるまちを目指し、地域の防災力と消防力の向上に努めてほしい」と呼び掛けた。

に分かれ、消火や情報収集・伝達などの訓練を繰り返した。
第2部の総合防災訓練では、黒沢川せせらぎ公園を会場に、赤十字奉仕団などによる応急給食200食の炊き出し、町婦人消防協力隊と少年消防隊などによるパケツリレ1消火、「積み土のう工法」による水防訓練、町消防団の消防ポンプ車による放水訓練などが行われた。

大地震想定し防災訓練

対策本部設置や炊き出し

奥州市

「防災の日」(1日)に、奥州市総合防災訓練は31日、同市水沢区の水沢公園や各地区センターで行われた。市消防団や防災関係機関・団体の関係者ら約1500人が参加。震度6強の地震発生を想定し、災害対策本部設置や応急炊き出しなどの各種訓練を行い、防災意識を高めた。

訓練は、午前7時30分ごろ、本県沖を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生。市内の水沢、江刺、前沢の3区で震度6強、その他の区でも震度6弱を記録し、多数の建物が倒壊。水道、電気などのライフライン施設も損壊した。真城地区の一部に土砂崩れの危険が生じたため、避難勧告を発令した」という想定。

市役所では、災害対策



現場指揮本部に被害状況などを報告する消防団員



応急炊き出し訓練で避難者に配布するおにぎりを作る参加者

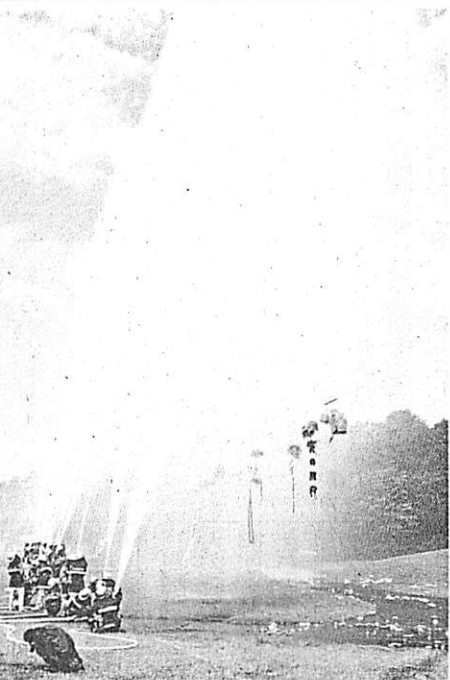
万が一の備え確認

金ヶ崎町住民ら700人参加

2014年度金ヶ崎町防災訓練(町、町消防団、奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部、町婦人消防協力隊主催)は31日、町西根場場の黒沢川せせら

ぎ公園などで行われた。東日本大震災を教訓に、関係機関・団体、地域住民ら約700人が各種訓練に参加。防災への意識を高め、万が一の事態に備え体制を確認した。

訓練終了後、奥消防学校の宮野弘幸副校長は「本日の防災訓練を契機に決意を新たに、地域防災力の中核として住民の期待に応えられるよう一層の尽力を期待したい」と講評した。



金ヶ崎町の2014年度防災訓練で色とりどりの水を豪快に放水する町消防団員ら

このうち放水訓練では、22台の消防ポンプ車が配置に就き、高さ約10メートルの位置に設置された的を目掛け一斉に放水。水柱のアーチを描いて的を割り、訓練を見守る住民を沸かせた。